

農の架け橋 地域と共に

— 白子町農業委員会だより NO. 42 —



令和3年5月
編集・発行/
白子町農業委員会

○『元気ある白子農業を 次世代に繋げていく…』

白子町農業委員会 会長 御園 弥



農家の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より農業委員会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、農業委員の改選により、新たに11名の農業委員が任命され、初総会において会長に選任され、その責任の重さを痛感しているところです。また、9名の農地利用最適化推進委員を委嘱し、合わせて20名による農業委員会の新体制が整いました。

現在、日本の農業は、地域の高齢化や後継者不足による遊休農地の増加、または米価の下落など、多くの課題を抱えており、また、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、農業経営についても厳しい状況になっています。このような中、国は、「新たな食糧・農業・農村基本計画」を定め、地域農業をいかに維持し、次の世代に継承していくか、という視点から、担い手の育成・確保や農地の集積・集約化を進め、農業経営の底上げにつながる対策を講じるとともに生産基盤の強化を図ることとしています。私たち農業委員会の果たすべき役割は、担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消など、「新 人・農地プラン」の実現化に向け、農地利用の最適化を積極的に推進していくことが重要であると思います。

本町農業委員会のスローガンである「—農の架け橋 地域と共に—」この言葉を胸に、元気ある白子農業を次世代に繋げていくために、農業委員及び農地利用最適化推進委員ともに協力し、積極的に活動を展開していきたいと思っております。

○農業委員及び農地利用最適化推進委員の紹介

*農業委員(11名)

【会 長】御園 弥 (中里中)

【副会長】田邊 淳子 (五井西) 中古 利一 (剃金東)

(※会長職務代理者)

【委 員】鵜澤 一正 (古所西) 酒井 一雄 (北高根東) 吉野 定子 (幸治西)

片岡 知幸 (五井西) 細谷 勝 (幸治東) 大多和 健二(関 南)

牧野 宏行 (北日当) 秋葉 広行 (牛込中)

*農地利用最適化推進委員(9名) ()担当区域

安藤 和典 (北日当・南日当・福島) 河野 良一 (関) 齋藤 重雄 (北高根)

萬崎 宏 (浜宿) 吉井 実 (牛込) 長島 幸夫 (剃金)

田邊 義輝 (古所・五井(東西)・八斗) 河野 庄一 (中里・驚) 石和田 喜明 (幸治)

○『農業委員会』って、何をしてるの？

農業委員会は、農地等の利用の最適化【①担い手への農地利用の集積・集約化 ②遊休農地の発生防止・解消 ③新規参入の促進を推進】を主旨に、農地法に基づく農地の売買・貸借の許可、農地転用案件への意見具申など、農地に関する事務を執行する行政委員会として市町村に設置・運営しています。

➤ 白子町農業委員会の運営

○ 農業委員

(1) 委員数 11名（・認定農業者 10名(うち女性委員2名) ・中立(農業者以外)委員 1名)

(2) 任期 3年間（令和3年3月26日～令和6年3月25日）

(3) 職務内容

- ・農地の権利移動及び農地転用等の農地法に基づく業務
- ・農地利用の最適化(担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等)の推進
- ・上記職務における農地利用最適化推進委員との連携

○ 農地利用最適化推進委員

(1) 委員数 9名（各区域 1名）

区域	担当する地域	区域	担当する地域
第1区域	北日当、南日当、福島	第6区域	剃金
第2区域	関	第7区域	古所、五井(東・西)、八斗
第3区域	北高根	第8区域	中里、驚
第4区域	浜宿	第9区域	幸治
第5区域	牛込	-	-

(2) 任期 3年間（農業委員会委嘱日～令和6年3月25日）

(3) 職務内容

- ・担い手への農地利用の集積・集約化の推進に係る現地活動
- ・遊休農地の発生防止・解消の推進に係る現地活動
- ・農業への新規参入者の促進に係る現地活動
- ・上記職務における農業委員との連携

○ 年間活動計画

- ・農業委員会総会（毎月10日頃 ※総会前、現地調査）【・申請者受付 前月21日～25日】
- ・農地利用状況調査（遊休農地の一斉把握）(8月～10月)
- ・農地利用の最適化推進活動（「人・農地プラン」の作成・見直し）
- ・農業者年金加入促進活動
- ・その他、各種研修会等の開催・参加

